

小学生 ロボットバトルトーナメント
 〈開催日〉毎月第1土・日曜
 〈会場〉アミュあつぎ9階
 直接または電話でロボット
 ゆうえんち ☎080-4081-6371へ

編集・発行／厚木市政策部広報戦略課
 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
 TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

未来をつくるテクノロジー

ロボットにふれあえるまちへ



迫力あるロボットバトルに、会場の注目が集まった



岡本さん(左)がレフェリーとしてイベントを進行

ロボットで まちおこしに挑戦



ロボット・バトル・トーナメントの運営には、「あつぎものづくりブランドプロジェクト(通称「ATSUMO」)」が協力しています。産学官の連携によるまちおこしを目指すプロジェクトには、市内の中小企業など27社が参加し、技術開発力の強化や地域経済の振興などに取り組んでいます。

ATSUMOは、市がロボット産業特区に指定されたことをきっかけにロボット開発に着手。神奈川工科大学と連携し、全国的にも珍しい等身大二足歩行タイプのロボット「ロボコロ」を製作して、まちにインパクトを与えました。

市ではATSUMOをはじめ、ロボット製品の開発に取り組む市内の企業などに、調査研究や実証実験、原材料などの費用を支援。今後のまちづくりを担うロボット産業の活性化を目指しています。

関産業振興課 ☎225-2830



ロボットの展示なども実施

ア ミューあつぎに特設された舞台で、ロボットが激しくぶつかり合います。強烈な一撃でダウンを奪うと、会場にどよめきと歓声が響きます。操縦する子どもたちは、思い通りに動かそうと必死にコントローラーを握り、熱戦を繰り広げました。

2月6日、子どもたちに気軽にロボットに触れてもらおうと「小学生ロボット・バトル・トーナメント」が初めて開催されました。企画したのは、有志のロボットエンジニアらでつくるチーム「ロボットゆうえんち」。代表の岡本正行さん(51・林)は「使っているのは、本格的なバトルイベントでも優勝を狙える高性能のロボット。今後定期的開催するこのイベントで、たくさんの子どものために『本物のロボット』を体験してほしい」と笑顔で話します。

チームでは、子どもたちに物作りの楽しさを伝えようと、ロボットバトル大会や工作教室などの企画、市販ロボットの修理などに取り組んでいます。岡本さんは「ロボットは、介護や医療、生活支援用など、将来必ず市民の生活に入り込んでいく重要なテクノロジーです。今後の進化・発展のためにも、未来を担う子どもたちがロボットに触れることで、興味を持つてくれたら」と期待を寄せます。

平成25年2月、厚木市を含む圏央道周辺の自治体が「さがみロボット産業特区」に指定され、市内のロボット産業への関心はますます高まっています。未来への期待を乗せて躍動するロボットが、まちに活力を与えています。

目次	2面 防災対策を再確認しよう	3面 自治会活動で住みよい地域に	4・5面 あつぎこどもの森公園	6・7面 タウンガイド
	地震などの大規模災害に備え、一人一人が取り組むべき日頃からの防災対策を確認しましょう。	私たちの生活を支える自治会の活動に参加して、住みよいまちをつくりましょう。	3月12日にいよいよ開園を迎える「あつぎこどもの森公園」。その魅力をたっぷりご紹介します。	催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

こちらから

あつぎ 元気Wave
CATV 3/1~放送

日頃の備えがあなたを救う

防災対策を再確認しよう

地震や風水害などの大規模災害への備えは、一人一人の日頃からの取り組みが大切です。甚大な被害をもたらした東日本大震災から5年がたとうとしている今、教訓を忘れることなく、あらためて自分自身の防災対策を確認しましょう。

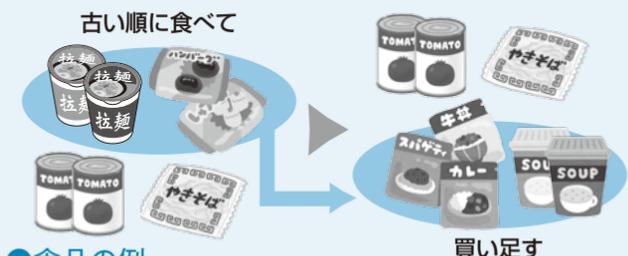
トピック

防災



駅に発生する滞留者を誘導した帰宅困難者対策訓練

ローリングストック（回転備蓄）の仕組み



●食品の例

レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、乾物、ドライフルーツなど

●日用品の例

カセットコンロ用ガスボンベ、乾電池、コンタクトレンズ、粉ミルク、ペットフードなど

日頃の備えは災害時の冷静な対処につながります。NPO法人日本防災士会湘南支部の鈴木純さん(64)は「防災の基本は自助。自分を守ることで、他の人を守る余裕もできる。自助で大

災害発生時、自分の身を守るための備えがあると、被害を大きく減らせます。非常持ち出し品の準備や家具の転倒防止、家族の安否情報の確認方法、避難所などを確認しておきましょう。

非常食は、1週間分備えるのが理想です。日常的によく食べる食品で日持ちするものを少し多めに買い、食べた分を定期的に買い足す「ローリングストック」が有効です(左欄参照)。ちょっとした工夫で無理なく災害への備えを

「自助」の強化を推進

災害への対応で重要なことは、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が支援活動をする「公助」の三つです。県は、厚木市で今後30年間に、震度6強の地震が発生する確率を70%と予想しています。いざという時に落ち着いて対処するには、日頃から防災への意識を持つことが大切です。

「共助」で地域を守る

切なのは、救助される人でなく救助する人になること」と強調します。

周りの人を助けられる人が多い地域は、防災に強い地域といえます。その中心を担うのは自主防災隊です。自治会を中心に各地域で組織され、防災訓練のほか、災害時は地域住民の安否確認や救助活動などに当たります。

訓練への参加は、知識や技術を身に付けるだけでなく、近所の人たちと顔見知りになるきっかけになります。そこで生まれたつながりは、災害時に大きな力になります。地域の人々と触れ合うことも大切な防災対策の一つです。

「公助」の強化を推進

市では、東日本大震災の発生以降、地域防災計画の見直しや「自助」と「共助」の啓発、企業との災害協定の締結など、防災力の強化に努めてきました。

実践的な対応力を養うため、地域の実情に合わせた防災訓練や帰宅困難者対策訓練も実施しています。さらに、災害時にも使える井戸の設置(荻野運動公園)に加え、防災行政無線を10基増設。広範囲に災害情報を伝えられる全方位型スピーカーの導入に向けた検証をするなど、皆さんの大切な命を守る「公助」の強化を進めていきます。

☎危機管理課 225-2190

非常持ち出し品チェックリスト

- 非常食(最低でも3日分) …レトルト食品、缶詰など
- 飲料水(1人1日3ℓ)
- 携帯ラジオ…正確な情報を得るため
- 懐中電灯…停電時の必需品
- 予備の電池
- ヘルメット・防災頭巾
- 救急医薬品…常備薬、包帯など
- 衣類…下着、上着、靴下など
- 生活用品…毛布、ゴミ袋、ティッシュペーパーなど
- 貴重品…現金、通帳など

東日本大震災の被災地を応援しよう

震災から5年。被災地にはまだまだ支援が必要です。義援金のほか、観光地を訪れたり、物産品を購入したりすることが被災地の応援につながります。皆さんの温かい支援をお願いします。



東日本大震災義援金 受付期間は3月31日まで(予定)

口座振込のほか、福祉総務課窓口、本庁舎1階受付、中央図書館などでも受け付けています。

《振込先》 横浜銀行 県庁支店(普通) 0769608
郵便局 00290-8-20001

《受取人》 「日本赤十字社神奈川県支部 支部長 黒岩祐治」

《手数料》 銀行=窓口で専用振込用紙を使用した場合、無料
郵便局=窓口で取り扱いの場合、無料

《その他》 通信欄に「東日本大震災義援金」と記入してください。

☎福祉総務課 225-2200

行って・見て・食べて、東北を感じよう

岩手県

「北上展勝地」

福島県

「会津郷土料理」

伝統的な手法で、自然の味を生かして作られています。

北上川沿いに約一万本の桜が咲き乱れる、みちのく三大桜名所の一つ。

宮城県

「仙台城址」

伊達政宗騎馬像近くから仙台市街を一望できます。

ひとまち 元気



マップアートでフィナーレ

厚木市長 小林常良

2月1日、厚木市は61年目の歩みを踏み出しました。1月30日には、市政に功績のあった方々をたたえる表彰式を行いました。6人の元市議会議員と教育長に自治功労表彰を贈りましたほか、行政活動や地域ボランティア、スポーツ

などで活躍した119人・28団体を表彰させていただきました。翌31日には、約350人がグループに分かれて60キを歩き、その軌跡であゆ「ひとまち」を描く「みんなで描くマップアート」を開催。2年間にわたって展開してきた市制60周年記念事業を、盛大に締めくくることができました。17年ぶりの大相撲、のど自慢やなんでも鑑定団といったテレビ番組の公開収録、ギネス記録を達成したブレイブボーンドリレーとおんぶで100メートル、ブルスジャンボリーなど。実行委員会が主催した12事業には、約1万2千人もの皆さんにご参加いただきました。たくさんの方々の皆さんと厚木市の足跡に思いをはせ、ふるさとの60歳を祝福した掛け替えのない日々。共有した思いは、まちをさらに輝かせる原動力になってくれると確信しています。

トピック 自治会

自分たちのまちは自分たちでつくる

自治会活動で住みよい地域に

市内の各自治会では、それぞれの地域の实情に合わせ幅広い活動を展開しています。誰もが安心して心豊かに暮らせるまちをつくるには、多くの住民が自治会の活動に参加し、地域のつながりを深めることが大切です。

近年、一人暮らしの高齢者世帯の増加や核家族化、大規模災害の発生などを通して、地域コミュニティの重要性が再認識されています。市内には218の自治会があり、約6万5千世帯が加入しています。同じ地域に住む人たちが協力し、防災や防犯、交通安全、環境美化など、住みよい地域をつくる活動に取り組んでいます。

安心・安全な地域づくり

自治会の活動は、安心・安全な地域をつくる上で大きな役割を果たしています。各地域では、子どもたちが交通事故や犯罪被害に遭わないよう、登下



地区で実施した防災訓練にはたくさんの人が参加

自治会加入者の声



陸合南地区 住 俊彦さん(68)

防犯・防災・環境対策など、さまざまな問題を解決するため、自治会を中心に地域住民が集まって知恵を出し合っています。

日頃から深めた親睦や交流が、地域の連帯感を生み出しています。

自治会で実施する清掃やお祭りなどへの参加を通じて、子どもたちは人との付き合い方を学んでいます。

家族が地域の中で安心して暮らしていくためにも、近所の人とのつながりを持つことは大切だと実感しています。



厚木北地区 仁木 洋平さん一家



玉川地区 井上 茂さん(72)

私たちの住む地域には、昔から代々受け継がれている伝統や文化などが数多くあります。そういった地域の宝を、しっかりと次の世代に引き継いで守り育てていくことも、自治会が担う重要な役割だと思います。

災害時には一致団結

住民同士のつながりは、地震や風水害などの災害発生時にも大きな力を発揮します。各自治会では毎年、防災訓練を実施。住民の連携を確認し、地域の防災力を高めています。5年前に発生した東日本大震災でも、行方不明者の捜索や救助活動、避難場所の設営など、地域住民の自主的な活動が大きな

地域住民をつなぐ自治会

市自治会連絡協議会の前場政行会長(77・七沢)は「自治会の活動は全て、人と人の触れ合いの場になる。多くの人に参加して力を合わせることで、地域が抱える課題の解決にもつながる」と話します。

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という一人一人の思いが、住みよい地域をつくりまします。皆さんも積極的に自治会活動に参加し、地域のつながりを深めましょう。

市民協働推進課 ☎225-2141

成果を上げました。

3月は自殺対策強化月間

見逃さないで「心のサイン」

自殺の原因には、さまざまな要因が複雑に関係しています。身近な人の心のサインに気づいたら、温かく寄り添いましょう。

自殺を予防する四つのポイント

- ①「気付き」=周りの人の悩みに気付く
 - ・家族や仲間の変化に敏感になり、悩みを抱えている人が発するサインになるべく早く気付きましょう。
- ②「傾聴」=本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
 - ・話をじっくり聞いてもらうことで、満足感を得ることができ、本来の自分を取り戻すきっかけにつながります。できる限り話に耳を傾けましょう。
- ③「つなぎ」=専門医や専門機関への相談を勧める
 - ・心の病気の兆候があれば、状況や気持ちを理解してくれる家族、友人、上司などに協力を求めましょう。
 - ・治療の第一歩は、公的機関や医療機関の専門家への相談から始まります。相談から支援を広げていくことが大切です。
- ④「見守り」=温かく寄り添いながら、じっくりと見守る
 - ・身体や心の健康状態について自然な雰囲気ですべてを掛けて、焦らずに優しく寄り添いながら見守りましょう。
 - ・家庭や職場での体や心の負担が減るように配慮しましょう。

健康づくり課 ☎225-2201

～一人で悩まないで気軽に相談を～

こころの健康相談

市では、自殺予防のため臨床心理士による相談を無料で実施しています。心の健康や人間関係などの悩みについて、お話を伺います。

《日時》3月3日、①13時～13時50分 ②14時～14時50分③15時～15時50分。

14日、①9時～9時50分②10時～10時50分

③11時～11時50分。※電話か面談のどちらかを選べます(予約制)。

《場所》保健センター 《対象》市内在住の方

健康づくり課 ☎225-2201へ。



誰かに話すことが第一歩



臨床心理士 吉田 亜紀さん(50)

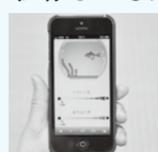
話をすることで 気持ちが楽に

相談には、20歳代から80歳代の方まで、幅広い年代の方が来ます。しかし、自殺を考えるほどの悩みは、なかなか人に打ち明けられません。一人で悩まず、勇気を振り絞って相談してください。

本当の思いを話すことで、気持ちが楽になり、生きる希望につながります。心や体の負担を減らすきっかけをつくるお手伝いをします。

こころの体温計

心の状態をパソコンや携帯電話で手軽にチェックできます。自分や家族の健康状態、アルコール依存なども確認できます。



▼携帯電話



厚木市 こころの体温計

検索



リスの道で高いネットの輪をすいすい登れば気分はリス



すべり台はまるで森の中のジェットコースター

遊び

園内には、山の立地を生かした遊具が盛りだくさんです。高さ約12.5mの「ムササビの道」を登れば、森の中を縫うように滑る迫力満点の「森のすべり台」が目前に。全長106mと、日本一の長さ（超高分子量ポリエチレン製として）を体験できます。空中回廊を伝い公園の奥に進むと、長さ約45mの「リスの道」が見えてきます。空中を渡るネットの輪をくぐれば、高い木を駆け回るリスの気分が味わえます。

冒険遊びプログラムでは、木々に張り巡らされた縄を使ったターザン遊びや、竹や枝を使ったおもちゃ作りなど、里山の恵みを活用した遊びが楽しめます。自然の中で体を動かしながら仲間と協力し、目標を達成することで、身も心もたくましく成長します。

自然体験をたくさんさせてあげられうれしい子どもたちも自然への興味が深まったようでした。(パパ・ママ) すべり台を何回も滑りたくなりました！(子どもたち)



斜面にそびえるムササビの道

どっちが速い勝負だ！

【注意】園内の遊具は全て6歳～12歳が対象年齢です。6歳未満の子どもが利用する場合は保護者の方の同伴が必要です。



利用時間=4月～9月 9時～17時
10月～3月 9時～16時
アクセス=《車》本厚木駅から約25分(荻野運動公園駐車場をご利用ください)《バス》厚木バスセンターから①半原行き乗車、稲荷木下車。②宮の里行き乗車、宮の里東下車などで約40分。

触れ合い

園内全域に渡る空中回廊は、全長745m。森の中に連続的に設置されたものとして、日本一の長さを誇ります。木々と同じ目線になることで、新たな発見がいっぱい。夏には樹液に集まるたくさんの昆虫、冬にはツグミやジョウビタキといった野鳥など、四季折々の生き物を間近で観察できます。沢やため池には、カエルやオタマジャクシ、水草などの水生生物もたくさん生息しています。

公園では、ガイドの説明を聞きながら園内の施設と自然を利用する自然体験プログラムを実施します。生き物たちがどのように生活しているのか、豊かな自然を後世に残すために今できることは何かを学びます。



いろいろな生き物に出会える空中回廊

あそこに何がいるよ！

どんぐりこんなにたくさん見つけたよ



おいしくできるかな

農体験プログラムでは、施設内のかまどを利用して調理を体験



遊び疲れたらくぬぎの丘で一休み

農体験

園内の畑や田んぼを利用した農体験プログラムでは、自然に配慮した農業を使わない畑作や田植え・稲刈りなどの農業体験ができます。愛情込めて育てた作物は、施設内にあるかまどで調理。収穫したての里山の恵みを味わえます。作物や園内にある落ち葉を使って堆肥を作るなど、循環型の農作業体験を通して、里山の自然循環を学ぶプログラムです。

農業は、人と人が触れ合うコミュニケーションツールの一つ。農体験を通して、自然との触れ合いはもちろん、協力や助け合いの大切さも学びます。



芽が出てきているよ！

畑で無農薬栽培にこだわった農体験ができる

3月12日オープン

遊んで学んで元気になる

あつぎ こどもの森公園

平成25年から整備を進めてきた「あつぎこどもの森公園」がついに開園します。荻野地区に広がる里地里山の自然を生かした、子ども大人も楽しく元気に学べる新拠点。特集では、今後プログラムが実施される「触れ合い」「遊び」「農体験」の三つの分野に焦点を当て、公園の魅力を紹介していきます。

園公園緑地課の2階2号室

あつぎ 元気Wave
CATV 3/1~放送
公園の魅力を紹介

公園を体験するご家族

今若さんファミリー
(森の里)
直征さん(43)
朋美さん(39)
麻美さん(8)
聡一さん(5)

外遊びが大好きな今若さん一家に、開園より一足先に「あつぎこどもの森公園」を体験してもらいました。



二つの会場に自然体験プログラムやおいしいフードが大集結 オープニングイベント

園内の自然や施設を生かしたプログラムや、気球、カヌーなどさまざまな体験コーナーがめじろ押しです。

日時 3月12日(土)・13日(日) 10時～16時

場所 あつぎこどもの森公園(中荻野916-2) 荻野運動公園(中荻野1500)

内容 園内の自然や施設を生かした自然体験プログラム/ステージパフォーマンス/工作体験/あつぎOECフード・市内ラーメン店飲食ブース/アウトドアショップの出展・販売など

当日直接会場へ(気球体験のみ要予約。荻野運動公園管理事務所 ☎225-2900へ)。

詳しくは [あつぎこどもの森公園](#)



オープンを盛り上げるステージ

子どもも大人も幸せを見つけられる場に

元(仮称)健康こどもの森整備検討委員会委員長 東京農業大学元助教、現非常勤講師 宮田 正信さん(66・川崎市)

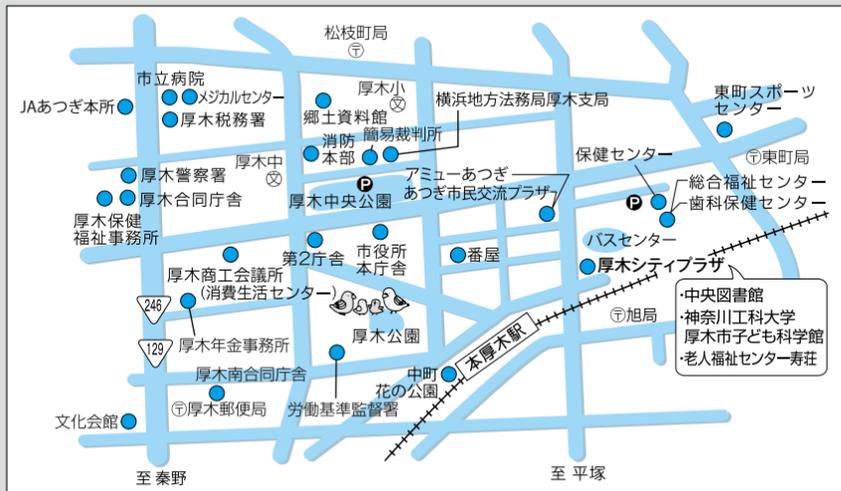


荻野地区は、国道が通るなど交通の便が良く、豊かな自然あふれる里地里山に恵まれた場所です。そのため、気軽に足を運び、自然と触れ合いながら遊べる公園を整備するには、とても適した土地でした。

あつぎこどもの森公園は、子どもたちが自然の中で体験するさまざまな活動を通して、生きる力を育み、同時に自然の大切さを学ぶ場にするを目的としています。大人たちも、そのような場を子どもたちに提供することで、これまで培った知識や経験を生かせるだけでなく、生きがいにもなります。子どもだけでなく、大人も幸せを見つけられる場が、あつぎこどもの森公園なのです。

豊かな里地里山の恵みを感じ、自然の大切さを学んで次の世代へついでいく。そのような場になってほしいと願います。

タウンガイド



3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

マイタウンクラブ
 〇印の番号で、ウェブ上から詳しい情報がご覧になれます。「〇〇」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com
 [携帯電話は末尾に/cpを]
 市役所への郵便物は「〒243-8511 厚木市役所〇〇課」で届きます。

あつぎの遺跡展 「弥生時代の厚木」

3月12日～4月3日、9時～17時。郷土資料館。子の神遺跡をはじめとする市内の弥生時代の遺跡の発掘調査成果の展示。無料。☎当日直接会場へ。📍文化財保護課 ☎225-2509。

斎場施設見学会

3月9日、①10時30分～②13時30分～。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。定員各回30人。無料。☎3月1日～8日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。

市民ふれあいマーケット

3月13日、9時～13時30分（雨天中止）。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を130店舗が販売。📍環境政策課 ☎225-2749。

インターナショナルティーサロン

3月13日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。外国籍市民との交流会、ベリーダンス体験。日本語での交流も可。200円（小学生以下無

料）。☎当日直接会場へ。📍市民協働推進課 ☎225-2215。☎152668

健康づくり大学～温泉と自然で心もからだも綺麗に～

3月30日～31日（1泊2日）、13時～翌日15時。ふるさとの宿（飯山5547）集合。森林浴ハンモック体験、ヨガ、温泉入浴療法、夜桜見物、文化財巡り、旅館での食事と入浴など。定員20人。1万3500円（食事、入浴、保険料など）。☎3月1日から東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。☎152671

あゆコロちゃん体操 アレンジ発表会

3月13日、13時30分～15時40分（開場は13時）。文化会館。5団体によるオリジナルあゆコロちゃん体操の発表。入場無料。定員200人。☎当日直接会場へ。先着順。📍健康づくり課 ☎225-2201。

ターゲット・バードゴルフ 「女子会inオール厚木大会」

3月12日（予備日13日）、9時～13

時。ゲーム感覚の団体戦。厚木青少年広場（厚木2348）。市内在住で経験のある女性。賞品・参加賞あり。弁当をお持ちください。無料。☎当日9時～9時20分に直接会場へ。📍市ターゲット・バードゴルフ協会・西野 ☎248-1799。

NPO法人会計講座

3月8日、13時30分～16時30分。あつぎ市民交流プラザ。収支計画書作成の流れなど、NPO法人の基本的な会計の実務を学ぶ。定員30人。無料。託児あり（1歳～小学3年生。要予約）。☎直接、電話またはファクス、EメールにNPO法人名、〒住所、氏名、電話番号を書き、3月7日までに市民協働推進課 ☎225-2141・☎225-4612・e-mail=2800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

森のたんけん隊・5月 「七沢森のようちえん」

5月11日、14時～16時30分。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。子どもたちが自分で考え、活動できる森遊びをする。市内在住の3～6歳の未就学児20人（保護者同伴可）。1人250円（材料費、保険料）。☎直接、電話またはファクスに事業名、〒住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号を書き、4月21日までに七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。☎152714

荻野運動公園第1期水泳教室

《日時》①4月5日～6月21日の火曜（全10回）②～④4月6日～6月22日の水曜（全10回）⑤4月8日～7月1日の金曜（全10回）⑥～⑩4月9日～6月18日の土曜（全10回）。①16時30分～17時20分②10時30分～11時20分③15時30分～16時20分④16時30分～17時20分⑤10時30分～11時20分⑥10時30分～11時20分⑦11時30分～12時20分⑧13時30分～14時20分⑨14時30分～15時20分⑩15時30分～16時20分《会場》荻野運動公園（中荻野1500）《対象》①④⑨⑩小学生、②⑤高校生以上の方（⑤のみ水中ウォーキング）、③⑥～⑧4～6歳未就学児《定員》

①④⑨⑩20人、②③⑤～⑧15人《料金》①③～⑩5000円、②7000円。☎3月27日までに荻野運動公園 ☎225-2689へ。☎①152676②152677③152678④152679⑤152680⑥152681⑦152682⑧152683⑨152684⑩152685

終活セミナー

3月26日、14時～15時30分。あつぎ市民交流プラザ。人生の終わりをより良く迎えるための葬儀などを学ぶ。市内在住在勤の方20人。無料。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、3月11日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・☎206-4611へ。抽選。

外部評価委員を募集

公開の場で市の事業を評価する委員を募集します。

《対象》①市内在住で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議（年5回程度）に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない一の全てを満たす方1人《任期》平成29年3月末まで《報酬》1日7800円（交通費含む）。☎行政経営課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで3月31日（必着）までに〒243-8511行政経営課 ☎225-2280・☎223-4058・e-mail=0600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。選考あり。

国家公務員を募集

《職種》①総合職（院卒者・大卒程度）②一般職（大卒程度）③一般職（高卒者・社会人（係員級））《受験案内などのホームページ掲載開始日》①②2月1日③5月9日《第1次試験日》①5月22日②6月12日③9月4日。☎①4月1日～11日②4月8日～20日③6月20日～29日（直接または郵送の場合6月22日まで）に、人事院ホームページで受け付け。📍人事院関東事務局 ☎048-740-2006。

体育協会の臨時職員を募集

《対象》18～60歳の健康な方若干名《内容》スポーツ施設の管理・

皆さんの意見を市政に反映

インターネットモニターを募集

インターネットを通じて、「広報あつぎ」に掲載する市の施策・サービスなどに、意見を寄せていただくモニターを募集します。頂いた意見は、今後の事業などに生かしていきます。

【対象】市内在住在勤在学の16歳以上で、Eメールを送受信できる方
 【期間】4月～9月（毎月2回）
 【謝礼】図書カード（500円）を進呈
 ☎Eメールに〒住所、氏名、生年月日、電話、メールアドレスを書き、3月13日までに広報戦略課e-mail=0200@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

📍広報戦略課 ☎225-2043

☎公募352024



月2回メールで回答

全戸配布される冊子で効果的なPRを市民便利帳の広告主を募集

平成28年7月に配布予定の「市民便利帳」に広告を掲載していただける広告主を募集します。市民便利帳は、市役所の業務内容、手続き、医療機関の案内、観光情報などを載せたガイドブックです。

市内全戸と、転入者に配布します。申し込み方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。暮らしに役立つ情報が満載

《発行部数 11万部》

📍行政経営課 ☎225-2280



編集後記

いよいよ開園を迎える「あつぎこどもの森公園」。今回の特集を作成するに当たり、何度も足を運びました。大自然の中にそびえる巨大すべり台、森の中を駆け回れる空中回廊。カメラを片手にワクワクドキドキが止まりませんでした。園内は鮮やかな緑に囲まれ、四季折々の生き物に出会い、生まれ育った厚木市の自然の壮大さにあらためて気付かされました。「子どもたちに自然の中で元気いっぱい遊んでほしい」という思いで整備が進められてきましたが、大人が伸び伸びと羽を伸ばすにも最高の場所です。今から開園がとても楽しみです。（野本）

学校給食費を改定

食材価格の高騰や消費税率の改定を受け、4月から学校給食費を改定します。年額を11期(中学3年生は10期)に分け、5月から3月まで毎月末日(土・日曜、祝日の場合は翌日)までにお支払いいただきます。

☎学校給食センター ☎225-2683

学校給食費の年額表

区分	平成28年度以降	参考月額	
		5月	6月以降
小学校	1年生	4万2430円	3930円 3850円
	2・3年生	4万4590円	4090円 4050円
	4~6年生	4万4100円	4100円 4000円
中学校	1・2年生	4万7850円	4350円 4350円
	3年生	4万600円	4060円 4060円

運営など《勤務場所》東町・猿ヶ島・南毛利スポーツセンター、及川球技場のいずれか《期間》4月1日~9月30日(更新可)《勤務時間》月20日程度で①8時30分~15時②15時~21時30分③17時~21時30分の一交代勤務《給与》時給912円~。☎市販の履歴書に写真を貼り、3月15日まで(受け付け時間は9時~17時)に直接、南毛利スポーツセンター ☎247-7212へ。3月22日に面接を予定。

地区計画の一部変更に関する都市計画説明会

3月10日、19時~。市役所第二庁舎。風営法改正に伴う地区計画(厚木インター南部中心地区・本厚木駅南口地区)の一部変更についての説明会。☎当日直接会場へ。☎都市計画課 ☎225-2401。

国民年金保険料学生納付特例申請の受け付け

学生で前年所得が基準以下であれば、保険料の支払いが猶予されます。申請は年度ごとに必要で、平成28年度は4月1日から受け付けます。☎新年度の学生証または在学証明書、年金手帳、印鑑(代理申請の場合)を持ち、直接国保年金課 ☎225-2121へ。

マタニティマークが目印

妊娠初期は、外見からは妊婦であることが分からない場合もあります。赤ちゃんの成長やお母さんの健康維持に大切な時期であるため、マークを付けている方を見掛けたら「電車・バスでは席を譲る」「近くでの喫煙は



控える」などの思いやりのある配慮をお願いします。

☎健康づくり課 ☎225-2597。

子ども予防接種週間

3月1日~7日は、子ども予防接種週間です。4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種を済ませましょう。☎健康づくり課 ☎225-2597。

野草園オープン

春から秋にかけて約200種・8万株の野草が楽しめる野草園が冬季休園を終え、再オープンします。《日時》3月1日~11月30日、9時~16時30分《会場》荻野運動公園(中荻野1500)《入場料》無料《休園日》月曜・祝日の翌日(土・日曜は除く)。☎荻野運動公園 ☎225-2900。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》
■学校給食施設の整備方針
《閲覧期間》3月1日~31日《閲覧場所》保健給食課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページ《応募資格》市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案箱」に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで ☎243-8511保健給食課 ☎225-2668・FAX224-5280・e-mail=8250@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

あつぎ健康相談ダイヤル24
健康相談・医療機関情報(救急含む)
さわやか1番 よいところ
☎0120-31-4156
◎発信者番号は通知設定でおかけください

自然の中で子どもたちと遊ぼう 七沢キャンプカウンセラーを募集

七沢自然ふれあいセンターで開催するイベントを企画・サポートしていただける方を募集します。

《対象》市内在住在学の中学・高校・大学生
《研修》野外炊事や登山、ロープの結び方などの研修や実習、イベント企画会議(年間を通して14回程度実施。第1回は5月8日)
《参加費》研修内容により実費負担あり
☎七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500へ。



子どもたちの体験学習をサポート

☎七沢自然ふれあいセンター ☎248-3500

あつぎ 元気Wave 3月の広報番組ガイド

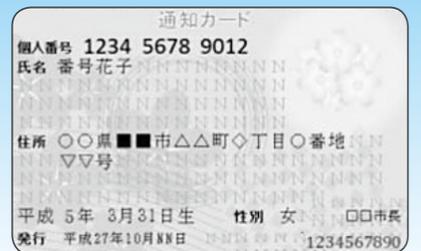
ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

3月1日~15日 ◆「あつぎこどもの森公園」が開園
3月12日に開園する公園の魅力や見どころを体験レポート
①12時~②19時30分~③22時45分~ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

各種手続きにマイナンバーの提示を

1月からの利用開始に伴い、市では社会保障・税関係の手続の際にマイナンバーの提示をお願いしています。確認に必要な書類は、通知カードと運転免許証などの写真付き身分証明書です。マイナンバーカードのみでも確認できます。



詳しくは 厚木市 マイナンバー 検索

通知カード

3月下旬~
4月上旬
土・日曜

市役所窓口の臨時開設



【日時】3月26・27日、4月2・3日
8時30分~12時
【場所】市役所本庁舎1階

市では、毎週土曜日の午前、市民課と国保年金課の窓口を開設しています。転入・転出が集中する3月下旬~4月上旬は、日曜日も開設し対応します。

- 市民課(1階) ☎225-2110
住民異動届(転出・転入・転居など)、印鑑登録、住民票の写しなど証明書の発行、マイナンバーカードの交付、戸籍に関する届け出、所得証明書の交付
- 国保年金課(1階) ☎225-2120
国民健康保険の加入・脱退などの届け出、被保険者証の発行、国民健康保険料納付書の発行、国民健康保険の給付申請、国民年金第1号被保険者の資格取得手続きなど
- 学校教育課(1階市民課窓口) ☎225-2650(臨時開設日は市民課 ☎225-2110へ)
小・中学校の転入手続き
- 子ども家庭課(2階) ※事前予約制 ☎225-2233
転入・転出に係る児童手当、子ども医療費助成、子育て日常生活支援事業(紙おむつ)。☎3月14日~22日に電話で子ども家庭課 ☎225-2233へ。臨時開設日は3月27日と4月3日。

《注意事項》

- ※本庁舎出入り口は、正面玄関と西側(駐車場)の2カ所です。
- ※車でお越しの方は、本庁舎西側駐車場または厚木中央公園地下駐車場をご利用ください。
- ※一部取り扱いできない手続きがありますので、事前に開設窓口にお問い合わせください。
- ※住民票の写し、戸籍謄本・抄本、税証明(土・日曜は要予約)などの証明書は、地区市民センター(公民館)や連絡所でも交付できます。ただし、厚木北・厚木南・愛甲地区市民センター、上荻野連絡所、総合福祉センターは平日のみ受け付けます。
- ※マイナンバーカードをお持ちの方は、住民票の写しと印鑑登録証明書をお近くのコンビニエンスストアの端末で取得することができます。
- ※国保年金課の窓口で手続きする際には、マイナンバーの提示を求める場合があります。

詳しくは 厚木市 市役所窓口 臨時開設

検索

☎行政経営課 ☎225-2280

ますます好調
あつぎ青春劇場

街のにぎわいづくりの起爆剤「あつぎ青春劇場」。開始から6年目を迎え、カラオケ大会や落語会などが好評を博しています。今回は初のお笑いライブも開催します。ぜひご来場ください。
☎商業にぎわい課 ☎225-2840



毎回大きな熱気に包まれるカラオケ大会



初開催 よしもとお笑いライブ

日時 3月30日 13時30分～15時 **定員** 120人
場所 アミューあつぎ9階ホール112 **費用** 500円
出演 ピスタチオ、ジョイマン、松下笑一、ゆったり感



ピスタチオ

ジョイマン

☑ハガキまたはファクス、Eメールにて住所、氏名、年齢、希望枚数(1人4枚まで)を書き、3月11日(必着)までに〒243-8511 中心市街地整備課 ☎225-2833・FAX 225-3130・e-mail=amyu-atsugi@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。



まちなか活性化プロジェクト 六ヶ村健三会長(67)

市街地にたくさんの若者を呼び込みたい

念願だった青春劇場でのお笑いライブがついに実現します。若い方々に足を運んでもらいたいので、春休み期間中の開催にしました。青春劇場として、新しい客層の開拓につながることを期待しています。

人が街に集まれば、にぎわいが生まれ、その効果は商店街にも波及するはず。今後もお笑いライブを開催し、市街地を一層活性化させていきたいと思っています。



安定した人気を誇る落語会

唄う！青春劇場カラオケ大会

日時 3月5日 15時～16時
場所 アミューあつぎ9階ホール112 **ゲスト** 立花伸一
定員 100人 **費用** 500円 ☑当日直接会場へ。先着順。

あつぎ 元気Wave
CATV 3/1～放送

オカリナコンサート

日時 3月12日 13時～15時
場所 あつぎ市民交流プラザ
8階屋内広場「sola」
費用 無料 ☑当日直接会場へ。

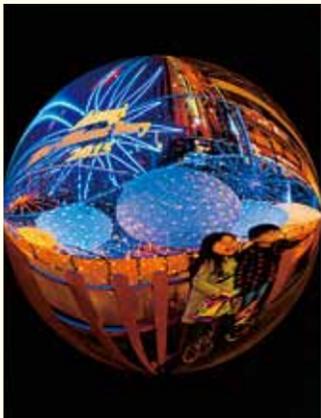
あつぎ青春劇場落語会

日時 3月26日 11時～12時30分
場所 アミューあつぎ9階ホール112
出演 古今亭志ん八 **定員** 100人
費用 500円 ☑当日直接会場へ。先着順。

広報写真コンクール

市内外から151点の作品が集まりました。入賞作品は、ロードギャラリーと市ホームページでご覧いただけます。

市長賞



「煌めく街」
清水進さん(海老名市)

【審査員の講評】

催しや風景だけでなく、日常を捉えた魅力ある作品が増え、良い傾向がうかがえる。市長賞の作品は、駅前の夜景を新しい視線で見せてくれた。コンクールのテーマ「とびっきりの厚木」にふさわしい作品だった。

神奈川新聞社賞=角田利夫さん(山際)、**入選**=村山修さん(南町)、榊原勇城さん(飯山)、其浦二郎さん(飯山)、桶谷泰子さん(愛甲)、山崎俊博さん(棚沢)、吉川翔太さん(温水)、**審査員奨励賞**=田倉優香さん(愛川町)、矢部なつみさん(妻田東)、玉川茜さん(伊勢原市)、**市制60周年記念賞**=出利葉照雄さん(鳶尾)

入賞作品決定

あつぎ映像コンテスト

ドキュメンタリー部門とCM部門に16作品の応募がありました。入賞作品は市ホームページで公開しています。

総合グランプリ



「農作業の楽しみ」八代俊博さん(中荻野)

【審査員の講評】

個人や小さなグループが、地域の人と触れ合いながら、身近なイベントや出来事を取り上げた作品が多く、どれも素晴らしいものばかりだった。総合グランプリの作品は、身近なテーマを通じて、制作者の人生や厚木のきれいな風景をうまく表現していた。

ドキュメンタリー部門賞=中里募さん(毛利台)、**CM部門賞**=会田俊彦さん(東町)、**協賛企業賞**=重松正孝さん(毛利台)、**市制60周年記念賞**=重松正孝さん、**あゆコロちゃん賞**=川崎喬さん(温水)

☎広報戦略課 ☎225-2040

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。